

玉川大学研究データポリシー

令和7年4月1日 策定

(目的)

玉川大学（以下「本学」という）は研究成果による社会貢献を目標として、予測不可能な時代にも玉川の叡智を集め、旗手として世界の未来を切り拓くために、専門的、学際的、総合的研究活動を展開する。そこで得られる研究データを適切に取り扱うため、研究データの管理・公開・利活用に関する基本方針として、研究データポリシー（以下「本ポリシー」という）を以下の通り定める。

(定義)

「研究データ」とは、本学における研究活動において収集又は生成された情報をさし、デジタルか否かを問わない。

(管理・公開・利活用)

管理、公開及び利活用の方法は、それを収集又は生成した研究者が、法令及び本学の規程その他これに準ずるものの範囲内並びに他の者の権利及び法的利益を害さない範囲内において、決定することができる。

(研究者の責務)

本学は研究データを収集又は生成した研究者がその研究データの管理を行う権利と責務を有していることを認める。その上で、研究者は可能な限り、研究データを公開し、利活用に供することができるようにする。

(機関の責務)

本学は、研究データの管理、公開及び利活用を支援する。

(その他)

社会や学術状況の変化に応じて、適宜本ポリシーの見直しを行うものとする。